



みどりの

第32号
 平成31年3月1日
 発行
 富山県立新川みどり野高等学校
 P T A
 印刷
 共栄印刷株式会社



PTA会長
 西海谷 義広

六年間を振り返って

早いもので、娘と息子が新川みどり野高校に入学、卒業してあっという間の六年間でした。
 最初は、娘が入学して新しい学校生活が始まりました。「この学校は、すごく楽しくて自分に合っている」と娘から話を聞きました。のちに、役員会に参加して色々な活動をおこなっていることを知りました。地域活動、ボランティア、さわやか運動など色々な行事があり、とても良い学校だと思いました。
 さて早いもので、私がPTA会長に就任させて頂いて五年の月日がたとうとしています。初めは自分で大丈夫かと心配になったこともありましたが、校長先生をはじめ教職員の皆様と父母の皆様が助けて頂いてここまでできました。誠にありがとうございました。
 この五年間の間に、息子が高校受験をひかえて悩んでいるときに、娘から「新川みどり野高校はどうか」と提案があり、私も大賛成でした。その息子も無事に入學し、今年の春卒業しようとしています。
 この六年間を振り返ると色々な思い出があります。とくに思い出に残っているのが新川キャンパスフェスティバルの屋台村です。生徒を中心とし、先生や保護者が一丸となり、毎年大成功で終わらせることができました。ありがとうございました。職務を通して、学校行事、先生方、生徒、保護者の方々と関わることができ、私も大変勉強になりました。このような貴重な経験をするのができた学校に感謝しています。会長職として力不足でしたが、本当にありがとうございました。



PTA会長
 西海谷 義広

大人の役割

子どもと親の関係は生涯続きます。私にも大学生と高校生の二人の子ともいますが、子どもと親の距離感や関わり合い方で悩んでおられる方も少なくないのではないかと思います。
 子どもの成長を願わない親はおられません。子どもを成長させるには、子ども自身が自分の存在そのものに、価値があることを認めることが大切です。周りの大人からの「褒める言葉や感謝の言葉」があつて、初めて子どもたちが自分を肯定的に考えることができるようになると思われています。そして、その言葉かけが一番近くで出来るのが親ではないでしょうか。
 皆さんは子どもに対してどのような言葉をかけていますか? 取り組んだ結果が良かったら褒めますか? 上手くいかなかったらその原因を子どもに伝えますか? どちらにしても結果に対しての声掛は、その場限りで進歩はありません。結果がどうであろうと、本人の努力のプロセスを認めて褒めることが一番大切です。それにより努力する習慣が身に付くようになります。また、同時に何かに挑戦し、努力を続けていけば、良い結果を得ることが出来る訳でもないことも伝えなくてはなりません。大事なものは、努力する過程の中で、失敗や困難を幾度となく経験し、それを乗り越える力、つまり「生きる力」を身に付けるよう導くことが、大人としての役目ではないでしょうか。
 私たち教師も生徒たちの一番近くにいる大人として、どうすれば子どもたちが成長できるかを日々考えていきたいものです。子どもたちの僅かな成長や変化に気づき、それを尊重できる大きな存在でありたいと願います。



教師
 亀田 二三夫

飛翔

「息子・娘たちへ」

この春、新たな夢や目標に向かって羽ばたく卒業生に
保護者の方々から祝福とはなむけの言葉をいただきました。



卒業おめでとうございま
す。振り返ると、あつという
間の三年間だったのではない
でしょうか。

新川みどり野高校では、通
常の授業以外に、様々な体験
をして、多くのことを学ぶこ
とができたと思います。スポ
ーツの活動では全国大会や
北信越大会に出場できました
ね。澆測とした姿で出場し、
一生懸命に走るのを見て、と
ても嬉しく思いました。また、
文化的な活動では、コンサ
ートで演奏する機会が何度もあ
り、他のメンバーを気遣いな
がら、楽しそうに楽器を弾い
ているのを目にして、人間と
して成長したのだなと思いま
した。生徒会活動にも携わっ
ており、意見を言ったりまと
めたり、切磋琢磨したと思
います。

素敵な友人たちに囲まれ、
理解ある素晴らしい先生方
にご指導していただき、本
当に充実した有意義な高校生活
を送ることができたのだと実感
しております。先生方のきめ
細やかで心のこもった進路指
導のおかげで、大学の入学も
決まりました。今後は新川み
どり野高校で学んだことを一

生の糧として、ますます魅力
あふれた大人になってもら
いたいと思います。
本当にありがとうございます
（P 年次保護者）

卒業おめでとうございま
す。夢に向かってその一歩を
踏み出しました。在学中は決
して平坦ではなく、傷ついた
り、沢山悩んだりしましたね。
その反面、沢山の友達にも恵
まれましたね。

キャンパスフェスティバ
ル・里孫活動・ボランティア
活動など、積極的に参加して
とても大切なことを学ぶこと
ができました。又、活動を通
じて人との繋がりが勉強でき
て良かったと思っています。
三年の間には、学校へはもち
ろん、勉強やアルバイト、家
事の手伝いもしてくれました。
一番辛かった、初任者研
修も無事修得することができ
ました。一緒に励ましてくれ
る友達や先生方がいたから励
みになり頑張ることができ
たのではないかと思っています。
四月からは福祉関係の仕事に
就いて頑張りたいと思っ

ています。そしていつも温か
く見守っていただいた先生方
にはとても感謝しています。
ありがとうございます。
（P 年次保護者）

卒業おめでとうございま
す。高校生活への期待と不安
で緊張した表情で入学した時
の事を昨日のように思い出
します。人と話す事が苦手で口
下手な為コミュニケーション
がうまくとれず学校での生活
になじめるか、友達はできる
か、先生方もうまく接する
ことができたか、と心配もし
ました。でも、先生からの勧
めもあり部活を始めてから
は、笑顔も多く見られたり試
合では真剣に取り組む姿を見
て成長を感じました。

二年生の時には、体調を崩
し精神的にも不安定な時期が
あり、学校も休みがちになっ
てしまい、三年で卒業できる
か心配だったけど、先生方の
励ましや気づかいに支えられ
乗り越えることができました。
心から感謝しています。
今、自分のやりたい事も見
つかり、春からは大学に通
うけど、夢に向かって頑張っ
てね。応援してるからね。
三年間、校長先生はじめ先
生方には大変お世話になりま
した。新川みどり野高校に入
学できて本当に良かったと思
います。
（P 年次保護者）

栗山さん 定通発表大会県代表に



第66回県高校定通制通信
制生徒生活体験発表大会が
10月11日、県教育文化会館
ホールで行われ、本校か
ら、木下好斗君(P1a)と栗

山由奈子さん(Q2)が出場
しました。審査の結果、栗
山さんが県教育委員会賞を
受賞し県代表に選ばれ、木
下君は努力賞を受賞しまし
た。栗山さんは「ただ、一
人の人間として」と題し
て、小中学校時代の苦しい
体験や、高校で出会った
人々との交流について述べ
ました。その中で人の心の
温かさに触れた感動、今後
の夢について発表しまし
た。栗山さんは、11月24日
に東京で開催された全国大
会に出場し、奨励賞を受賞
しました。

学校保健委員会より

11月16日に「災害に備えよ
う」をテーマに学校保健委員
会を開催しました。講師に魚津市
役所総務課防災係の草島佑典氏
をお迎えし、保護者、生徒、教
職員が参加しました。

保健厚生委員会からは、本校
生徒を対象に実施した防災意識
アンケートの結果と、災害につ
いて調査研究した内容や、家庭
に備えておくべき防災グッズ等
について発表がありました。会
場には水の濾過装置やソーラー
クッカー等、被災地で活用でき
る自作グッズを多数展示しまし
た。

講演では、魚津市の災害の歴
史や市の取組についてお話し
いただきました。災害に関する知



識は、知っているか知らないか
の違いが大きく、日頃から勉強
しておくのは非常に有効だとの
お話がありました。災害に対す
る危機感と対策の必要性を痛感
し、自らの災害対策について振
り返る良い機会となりました。

新川キャンパスフェスティバル

みどりの野屋台村に参加して



子供が入学し参加する事になった新川キャンパスフェスティバル。すべてが初めてのことで何もわからないままに当日、屋台村のお手伝いに行きました。緊張して部屋に行くとき先輩役員の方々がとてもフレンドリーに迎えてくださってすぐに輪に入ることが出来ました。調理をしている間も子どもたちの話を聞いてもらったり先輩の話を聞いたりして心もとても満たされた時間となりました。「お母さん、お母さん。」と嬉しそうに調理室に来る子どもたちの姿、一生懸命に声を出して売子をしている子の姿を見ると本当に嬉しくなります。

子どもたちが頑張って手掛けた展示品も見ることが出来て良かったです。

打ち合わせから、前日準備、

当日まで忙しく動いておられた役員の方々、サポートしてくださる先生方には本当に頭が下がります。有意義な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。(R年次保護者)

親子共々、初参加の新川キャンパスフェスティバル。当日は、雨模様でしたが沢山の友達で賑わいました。

屋台村では、お好み焼き担当になりました。初めは、親が文化祭で調理をするとは？?と思っていました。事前打ち合わせ、試食会、前日準備、当日と何度も役員と顔を合わせていくうちにワクワク楽しみになってきました。

皆さん、子ども達の為、一生懸命に協力していて、作業も手際よく、そして、楽しくコミュニケーションがとれました。何より保護者の団結力に驚かされました。

私は、今回役員として参加してみても初めての役員の方々と色んな話ができて、これからの我が子との接し方の勉強にもなりましたし、とても充実感でいっぱいの良い日になりました。

先生方にも細かくサポートして頂きありがとうございます。学校や皆さんとの交流が深まった事、嬉しく思い参加して良かったです。ありがとうございます。(R年次保護者)



初めてのキャンパスフェスティバルに、ワクワクしながらやる気満々で調理室に向かいまわりました。私にも何かお手伝いできることがあれば、どんなやり方と意気込んでいましたが、役員の方々の手際と事前の準備の段取りの良さに大したこともできずにいました。それでも微力ながら、役員の方々に教わりながらお手伝いさせてもらい、和気藹々と作業ができました。これも、先生方、役員の方々の優しさや気遣いのサポートがあったおかげだと思います。

作業が一段落すると、役員の方々に「子供の発表観てこれれ」と言ってもらい、その言葉に甘えて体育館での在校生の発表を観させて頂きました。

今回役員として、一保護者として参加してみても、先生方、保護者の方、生徒の皆さんの優しさや思いやりに触れ、人に恵まれていることを実感し、本当に良い学校に娘が入学できて感謝でいっぱいです。

来年のキャンパスフェスティバルがとて楽しみです。(R年次保護者)

平成30年度 進路状況

今年度は前期に2名、後期には35名が卒業します。今年度も昨年に引き続き進学希望者が就職希望者を上回りました。生徒の進路に対する真剣な取り組みの成果として、進学、就職希望者は希望どおりとなりました。

進学の部

今年度は1月末現在、16名の進学先が内定しています。受験方法は例年どおりほとんどが推薦入試を利用したものでした。推薦入試では日頃の学校での出席や学習、普段の生活態度が重視されるので、しっかりと学校生活を送ることが大事です。1月末現在の主な合格先、合格者数は次のとおりです。

- 富山国際大学.....1
- 岐阜女子大学.....1
- 岐阜経済大学.....1
- 仁愛大学.....1
- 東京福祉大学.....1
- 立正大学.....1
- 富山県技術専門学院.....1
- 大原簿記公務員医療専門学院.....2
- 富山調理製菓専門学院.....1
- 富山情報ビジネス専門学校.....1
- TPG国際ペットビジネス専門学校.....1
- ESPエンタテイメント東京専門学校.....1

就職の部

ここ数年、高卒求人も安定した数が出されています。しかしながら、事業所は相変わらず質の高い生徒を求めており、厳しい状況が続いています。来年度の雇用状況については今のところ未定です。

今後、就職を希望する生徒は早めに準備に取り掛かって下さい。また、進学希望者と同様に学校生活(学業・出席・身なり等生活面)をしっかりとすることも重要です。

1月末現在で内定した主な就職先、内定者数は次のとおりです。

- 国際ペット専門学校.....1
- 代々木アニメーション学院.....1
- 大原情報デザインアート専門学校.....1

- (株)ダイヤテックス.....1
- アイシン・メタルテック(株).....1
- (株)アイシン新和.....1
- (株)日本通運 富山支店.....1
- 入善キタノ製作(株).....1
- (株)桑山.....1
- (株)佐藤アンプル製作所.....2
- (株)建工ホールディングス.....2
- (株)ファインプラス.....1
- (株)りぼん.....1
- 経田ちよろく.....1
- (株)広清工務店.....1
- 此川建設(株).....1

部活動入賞報告

★第66回北信越高等学校

★第66回北信越高等学校 定時制通信制総合体育大会結果

(10月20日～21日)

●軟式野球 (鳥屋野運動公園野球場)

3位 富山県選抜チーム

有澤宗一郎 (P1a)

木下 好斗 (P1a)

込尾 亮輔 (P1a)

準優勝 富山県選抜チーム

新井 英介 (P2)

浜木 穂嵩 (Q1a)

中川 京介 (R1a)

池森詩温 (P1b)

元起 空 (P1b)

番場洗太 (O1a)

原田 錬 (O4)

麻生拓夢 (R2)

バドミントン (東総合スポーツセンター)
(女子団体戦)
4位 富山県選抜チーム
古野 鈴菜 (P1a)

卓球 (亀田総合体育館)
(男子団体戦)
4位 富山県選抜チーム
飛 琉星 (O1a)

伊勢 泉太 (Q1a)

準優勝 富山県選抜チーム
(女子団体戦)
石塚 瑞希 (P1a)

ソフトテニス (新潟市庭球場)
(男子団体戦)
優勝 富山県選抜チーム
小倉 永吾 (P2)

内島 正希 (Q1b)

剣道 (亀田総合体育館武道場)
(混合団体戦)
優勝 富山県選抜チーム
長谷川実樹 (Q2)

受賞おめでとう

★第66回富山県高等学校定時制通信制生徒生活発表会兼全国大会富山県予選

会長賞一位・県教育委員会賞

栗山由奈子 (Q2)

県振興会努力賞

木下 好斗 (P1a)

栗山由奈子 (Q2)

奨励賞 栗山由奈子 (Q2)

★第66回全国高等学校定時制通信制生徒生活発表会

栗山由奈子 (Q2)

白川恵美里 (O1b)

★富山県定時制通信制高等学校優良生徒表彰

石塚 瑞希 (P1a)

森田深乃理 (P1a)

★(公財)全国高等学校定時制通信制教育振興会優秀生徒表彰

石塚 瑞希 (P1a)

森田深乃理 (P1a)

★専門高等学校等陛下賜金記念優良卒業生表彰
濱木 葵 (P4)

★全国福祉高等学校校長会理事長賞
濱住 彩香 (P4)

★富山県高等学校体育連盟賞
一般表彰 石塚 瑞希 (P1a)

特別表彰 新井 英介 (P2)

特別表彰 笹原 蓮 (P1b)

★富山県高等学校文化連盟賞
一般表彰 金沢みどり (P1b)

特別表彰 有澤宗一郎 (P1a)

★富山県図書館協議会生徒図書委員表彰
岡本 佳純 (P1b)

★富山県福祉用具・アイデアアコンクール
(高校生部門アイデアの部)
優秀賞 米田 有希 (Q4)

学校行事など

★第1回キャリア支援講座

(9月13日)

3、4年次は就職・進学志望に分かれ、面接指導を受けました。1、2年次は販売系、製造系、事務系、福祉系の専門学校や大学などの職業別体験授業を受けました。

★前期卒業式

(9月26日)

普通科昼間I部1名、夜間1名の生徒が新たな目標を胸に羽ばたきました。

★地域環境美化活動

(10月2日)

私たちの町を美しく：地鉄経田駅、経田漁港東側周辺のごみ拾いを行いました。



★秋のさわやか運動

(10月23日・24日)

「あいさつで つながる心 広がる笑顔」の本校スローガンのもと、正門や生徒玄関であいさつが交わされました。保護者の方々にも参加していただきました。また、生徒会による前庭の清掃活動も行われました。

★新川キャンパスフェスティバル

(10月27日)

「輝け青春 最高の絆で 笑タイム!!」新川キャンパスフェスティバル2018をスローガンに、本校と県民カレッジ新川地区センターが協力し、今年度もステージ発表や作品展示、催し物などが賑やかに行われました。



た。思いやりと奉仕の心を育みました。

★福祉教養科出前講座(11月16日)

福祉教養科1・4年次生を対象に、県高齢福祉課による「介護保険と新しい福祉の種類について」の講演と、新川地区の福祉施設に勤務する介護福祉士2名を講師に招き、「ホームヘルパーの活動や仕事の魅力・やりがいについて」と題した体験談を聞きながら、授業や福祉体験を思い出しなが、制度や仕事内容、専門職の知識を深めました。また、これからの進路や仕事、社会人として求められる姿勢も学び、学校生活や自分自身を見つめ直す良い機会となりました。

★球技大会

(12月11日)

新種目の「ふらばるバレー」と「夢ボール」を男女混合チームで実施しました。慣れない新競技に戸惑っているチームもありましたが、



体育館は生徒たちの熱気で大いに盛り上がりました。各種目の上位3チームと、総合得点の1位P年次が表彰を受けました。

★図書館教養講座(12月11日)

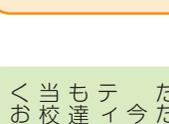
高森邦男先生に「有頼柳から故郷の古を想う」と題して、ご講演いただきました。ご自身が教職を志したきっかけなどを皮切りに、本校近くの「有頼柳」を軸として、本校の位置する経田・木下新周辺を含めた越中の国の変遷など、映像を交えた楽しい語りをお聞かせいただきました。



★第2回グリーンコンサート

(2018年12月12日～15日)

卒業をテーマにした作品展示・書道部を中心とした作品展示、及び舞台発表が行われました。



会務報告

10月

12日 役員会 (PTA屋台村準備打ち合わせ)

23・24日 秋のさわやか運動

23日 富山県高等学校PTA大会・指導者研修会 (ホテルグランテラス富山)

26日 新川キャンパスフェスティバル前日準備

27日 新川キャンパスフェスティバルにてPTA屋台村出店

11月

16日 学校保健委員会

25日 「みどりの」編集会議

2月

8日 第3回役員会

28日 「みどりの」第32号発行

3月

1日 卒業式

4・5日 保護者会 (在校生)

お悔やみ

Q2山崎龍太君には、ご病気のため、10月14日、享年16歳にて永眠されました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

第32号「みどりの」をお読みいただき、ありがとうございます。今年も新川キャンパスフェスティバルは益々盛況となり、子ども達の絆も深まりました。今後も当校へのご理解とご支援、よろしくお祈りいたします。